

学ぼう 本を通して公害や環境について



そらんぽ四日市
ホームページ

「四日市公害と環境未来館」は今年3月21日、開館から9周年を迎えます。当館には公害や環境について①知る②学ぶ③活動するという三つの機能があります。これまでに約40万人が来館し、展示や講座を通じて公害・環境について知り、学んでいます。

そのうち公害や環境への「学び」をさらに深める場として、1階に図書コーナーを設けており、公害や環境に関する図書を貸し出しています。

現在図書コーナーには、自由研究に役立つ資料や分かりやすく描いた漫画、専門書など子どもから大人向けまでの1万冊を超える書籍や視聴覚資料を取

りそろえています。

また、当館が開催する講座のテーマなどに合わせて選んだ本の「特集コーナー」を設け、より学びを深められるよう取り組んでいます。

春休みなどを利用して、この機会に図書コーナーで本を読み、公害や環境について学んでみてはいかがでしょうか。



そらんぽ四日市1階図書コーナー

☎ 四日市公害と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5792

楠地区唯一の城跡「楠城跡」

楠城跡は、鈴鹿川とその派川の分岐から少し東の大字本郷にあります。

楠城は、14世紀半ばの南北朝時代に築城された楠氏の居城といわれ、天正12(1584)年の「小牧・長久手の戦い」で城主が戦死するまでの約200年間存続しました。

城といっても、城主の屋敷を土罫や堀で囲った簡単な構造だったと考えられており、現地には城の存在を示すものは残されていません。しかし遺跡の調査では、五輪塔や、土師器の皿、羽釜、山茶椀、常滑焼の甕、中国から渡来した青磁椀、瀬戸産の天目茶椀など当時使用されたさまざまな品物が出土して

おり、往時の生活がしのべられます。

現在は、明治時代に植えられたと伝わるクスノキが城跡を見守っています。樹齢100年を超える大木の下で、歴史を感じながらしばしくつろいでみませんか。



クスノキのそばに立つ楠城跡の石碑

☎ 文化課 (TEL) 354-8240 (FAX) 354-4873